

佐土原町文化財調査報告書第15集

さ　ど　わら　ちょう　ない　い　せき  
**佐土原町内遺跡Ⅲ**

開発事業に伴う事前試掘・確認調査報告書

2000. 3

宮崎県宮崎郡佐土原町教育委員会

## 序

佐土原町及びその周辺地は近年、東九州自動車道や春田バイパス、下村川河川改修など大規模な開発事業が進められています。このような状況の中で、佐土原町教育委員会では、諸開発と文化財保護事業とが共存できるよう平成元年度から2年度にかけて作成された、「佐土原町遺跡詳細分布調査報告書」に基づいて事業実施の事前に試掘・確認調査を行い、遺跡の保存に努めて参りました。

平成9年度に「町内遺跡Ⅰ」を、平成10年度に「町内遺跡Ⅱ」をそれぞれ発刊して参りましたが、ここに、平成11年度に実施しました町内の試掘・確認調査の結果を「町内遺跡Ⅲ」として報告いたします。

この報告書が、学術資料としてはもとより文化財への理解・認識を深めるための一助となり、広く研究・教育の分野で活用していただければ幸甚に存じます。

最後となりましたが、調査にあたり関係各位よりいただきました、ご指導・ご協力に心より御礼申し上げます。

平成12年3月

佐土原町教育委員会

教育長 菊 池 俊 彦

## 例　　言

1. 本文は、各種開発事業に伴い佐土原町教育委員会が文化庁・宮崎県教育委員会の補助を受け実施した町内遺跡の試掘・確認調査報告書である。

2. 調査は下記の体制で行った。

平成11年度

調査主体	佐土原町教育委員会	教育長	菊池俊彦
		社会教育課長	郡司利文
		同課長補佐	河越弘明（7月から）
庶務担当		文化財係長	東浩一郎
々		主　　査	黒木直英
々		主　　事	柳間史朗
調査担当		主　　査	木村明史
佐土原城跡歴史資料館	館	長	赤木達也
出土遺物整理員			(12月まで)
			(2月から)

3. 出土遺物は、佐土原町教育委員会（佐土原町出土文化財管理センター）で保管している。

4. 色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修「新版 標準土色帖」による。

5. 空中写真撮影は、朝日航洋株・株マエダによる。

6. 方位は磁北、レベルは海拔高である。

7. 本書の編集は、柳間史朗主事が担当。

# 本文目次

第1章 はじめに	
第1節 調査の経緯	2
第2節 調査の組織	2
第2章 佐土原町の環境と調査地の概要	
第1節 佐土原町の環境	
1. 自然環境	2
2. 歴史的環境	2
第2節 調査の目的	2
第3節 各遺跡の位置と環境の概要	
1. 西春田地区遺跡（仮称）	3
2. 宝塔山地区公園2次遺跡（仮称）	3
第3章 試掘・確認調査	
第1節 西春田地区遺跡（仮称）	4
第2節 宝塔山地区公園2次遺跡（仮称）	24
第4章 おわりに	36

# 挿図目次

第1図 平成11年度町内遺跡試掘・確認調査地	1
第2図 西春田地区遺跡（仮称）調査区図	4
第3図 宝塔山地区公園2次遺跡（仮称）調査区図	24

# 図版目次

図版1 西春田地区遺跡（仮称）	調査地写真	5	
図版2	タ	調査地平面図	6
図版3	タ	遺物写真	7
図版4	タ	タ	8
図版5	タ	タ	9
図版6	タ	遺物実測図	10
図版7	タ	タ	11
図版8	タ	土層検出状況写真	12
図版9	タ	土層断面図	13
図版10	タ	タ	14
図版11	タ	タ	15
図版12	タ	タ	16

图版13	々	々	.....	17
图版14	々	々	.....	18
图版15	々	々	.....	19
图版16	々	々	.....	20
图版17	々	々	.....	21
图版18	々	々	.....	22
图版19	々	々	.....	23
图版20	宝塔山地区公園2次道路(仮称)	調査地写真	.....	25
图版21	々	調査地平面図	.....	26
图版22	々	土層断面図	.....	27
图版23	々	々	.....	28
图版24	々	々	.....	29
图版25	々	々	.....	30
图版26	々	々	.....	31
图版27	々	々	.....	32
图版28	々	々	.....	33
图版29	々	々	.....	34
图版30	々	々	.....	35



# 第1章 はじめに

## 第1節 調査の経緯

今回の報告書（佐土原町内遺跡Ⅲ）は、西春田地区遺跡（仮称）・宝塔山地区公園2次遺跡（仮称）の2ヶ所の試掘・確認調査の報告である。11年度末に、永尾遺跡・茶屋窯跡の2ヶ所の試掘・確認調査を行ったが、次年度発刊の「佐土原町内遺跡Ⅳ」に掲載する予定である。

それぞれの調査について事前の事業説明が行われ、開発予定地の確認調査を行い、調査結果を関係者に報告した。

以下その内容である。

## 第2節 調査の組織

例言のとおりである。

# 第2章 佐土原町の環境と調査地の概要

## 第1節 佐土原町の環境

### 1. 自然環境

佐土原町は北に一つ瀬川、東に日向灘、南に宮崎市、西に西都市と国富町が接し、面積56.84km<sup>2</sup>を有する。町内の地形としては、北部に都於郡・仲間原台地（標高90～100m）があり、その南に一段低い船野台地（標高80～90m）が位置し、その南東に年居台地（標高80～90m）が東西方向に長く伸びている。また、仲間原台地の北側には鹿野田・上田島丘陵が位置し、町の中央部には、標高60～90mの佐土原丘陵が存在する。

一つ瀬川沿いには、川に沿って東西に低地が形成され、町の海岸には砂丘がみられる。

### 2. 歴史的環境

佐土原町は、旧石器時代より人の営みがあり、弥生時代には伊賀給遺跡（1022）において稲作が行われていたことが確認された。古墳時代では土器田東1号横穴墓(3)において、極めて珍しい線刻画が見つかった。この線刻画は非常に残念なことに、国道10号線バイパスの開通により消失してしまった（レプリカ西都原資料館に展示）。その他にも佐土原町古墳、那珂村古墳、広瀬村古墳など多数存在しており、約150基近くが県指定となっている。

平安時代から中世期には、巨田八幡宮の創建、伊東氏の日向支配など佐土原が日向地方の中心として栄え始める。その後、天正から慶長にかけて島津家久（宗家第16代貴久の子）とその子豊久が佐土原城主として佐土原を治めるが、関ヶ原の戦いで豊久が戦死したため佐土原は一時天領となつた。慶長8年（1603）に島津以久（宗家第16代貴久の弟、忠将の子）が佐土原3万石の初代藩主として封ぜられてから、第10代忠寛までの約270年間、佐土原藩として再び島津家に治められることとなつた。

中世から江戸期の間、佐土原には多数の寺院が建立されたが、廢仏毀釈により廃寺となつたものもある。その中で、大光寺・高月院・松巌寺などは、現在に至るまで残っているものである。

近代には、日向の中心は現在の県都・宮崎市へと移っていくが、西南の役に出兵し戦死した島

津啓次郎や、西郷札の製作所など歴史に残る出来事は多い。

現代に入ると、工場の操業開始や工業団地へのハイテク産業の誘致など、産業活動が活発に行われるようになってきた。

## 第2節 調査の目的

県や町の各種整備事業に伴い、開発事業と文化財保護との調和を図り、事業を円滑に推進するために遺跡の試掘確認調査を行う。

## 第3節 各遺跡の位置と環境の概要

### 1. 西春田地区遺跡（仮称）

西春田地区遺跡（仮称）は、佐土原城跡の北西部で武家屋敷跡と伝えられている場所にある。また、当調査地の東側には県指定古墳である佐土原町古墳28号墳がある。

この地は、佐土原城跡に存在する4つ口（追手・鳴之口・野久尾・十文字）のうちの鳴之口にある。4つ口とは、本来は城の守りをかためるために4つの武士集団を配置し、その守り口に武を練る屯所を置いたものであったが、そこでの武士集団の集まりは慢性化した生活難により次第に生活の苦しさを語る会となり、藩政を非難するものへと変化していった。

### 2. 宝塔山地区公園2次遺跡（仮称）

宝塔山地区公園2次遺跡（仮称）は、佐土原丘陵北西にある宝塔山の東側谷部標高約11m～18mに位置している。付近には、17世紀から18世紀にかけての使用と推測される苗代焼物稽古所跡がある。

## 第3章 試掘・確認調査

### 第1節 西春田地区遺跡（仮称）

市町村名	佐土原町	調査主体	佐土原町教育委員会	調査担当者	木村 明史		
遺跡名	西春田地区遺跡（仮称）		所在地	佐土原町大字上田島8110-1 外4			
調査原因	西春田地区民間宅地造成事業		調査面積	約3,000m <sup>2</sup>			
調査期間	平成11年6月15日～9月10日		調査後の処理	埋土			
遺跡の種別	屋敷跡		遺跡の主な時代	中世～近世			
検出遺構	柱穴 溝状遺構						
出土遺物	陶磁器 瓦 盃状穴穿孔石						
特記事項	土層の堆積状況は、耕作土層・火山灰層・包含層・生活基盤層の順である。遺構の検出は、地表面より30～50cmのところでみられた。内容は、柱穴が72穴、溝状遺構が20条である。柱穴はかなり不規則に検出されており、建物の立て替えなどが行われた可能性を示していると考えられる。遺物は、主に調査地の中央から北部の方で出土しており、特に食膳具が多く出土している。						

調査地 1:2,500

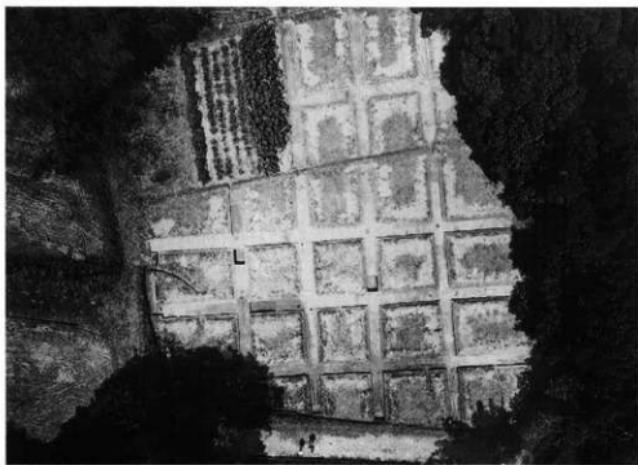


第2図 西春田地区遺跡（仮称）調査区図

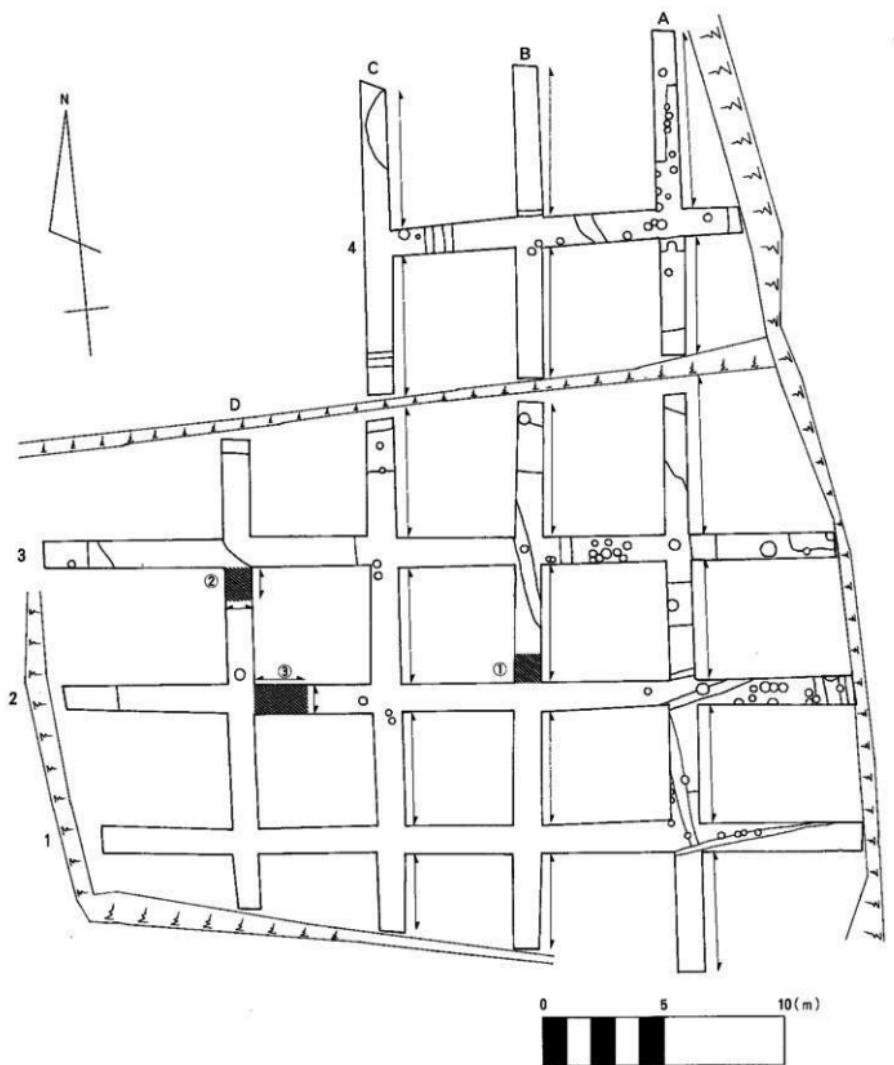
西方向から



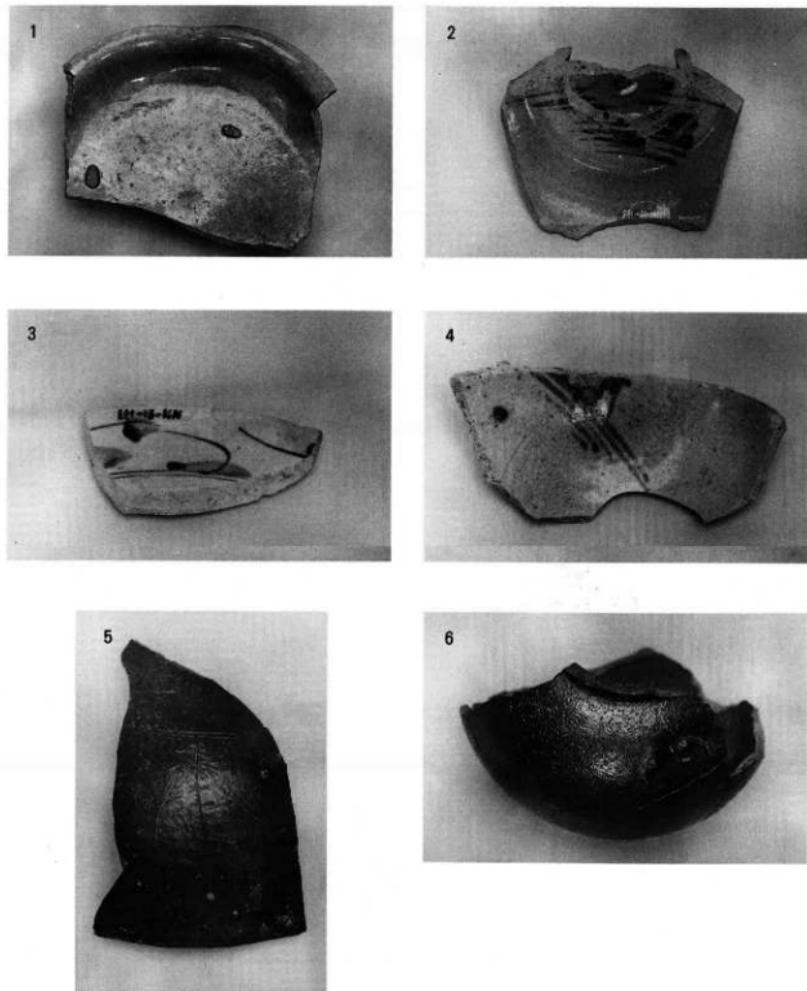
真上から



図版1 西春田地区遺跡（仮称）調査地写真  
(上：西方向より、下：真上より)



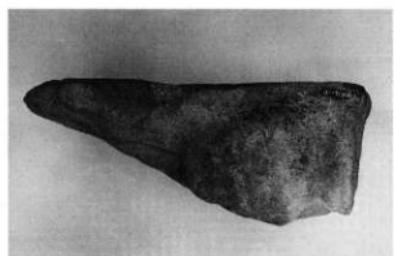
図版2 西春田地区遺跡（仮称）調査地平面図



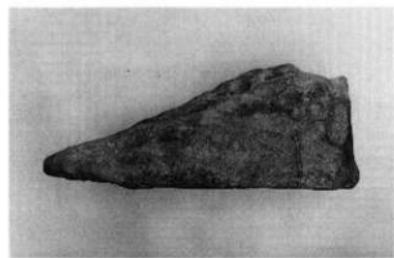
图版3 西春田地区遺跡（仮称）遺物写真  
(1~4:食膳具、5:壺、6:土瓶)



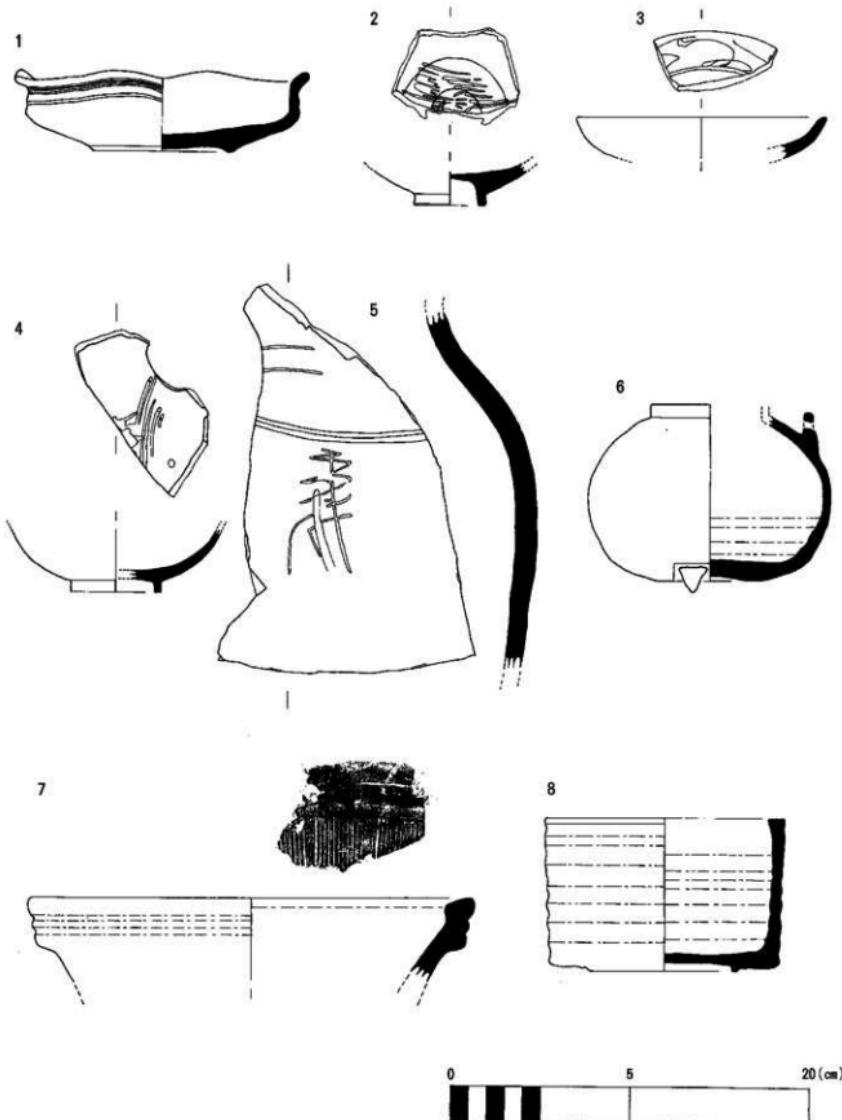
図版4 西春田地区遺跡（仮称）遺物写真  
(7:すり鉢、8:火入れ、9:不明、10:壺)



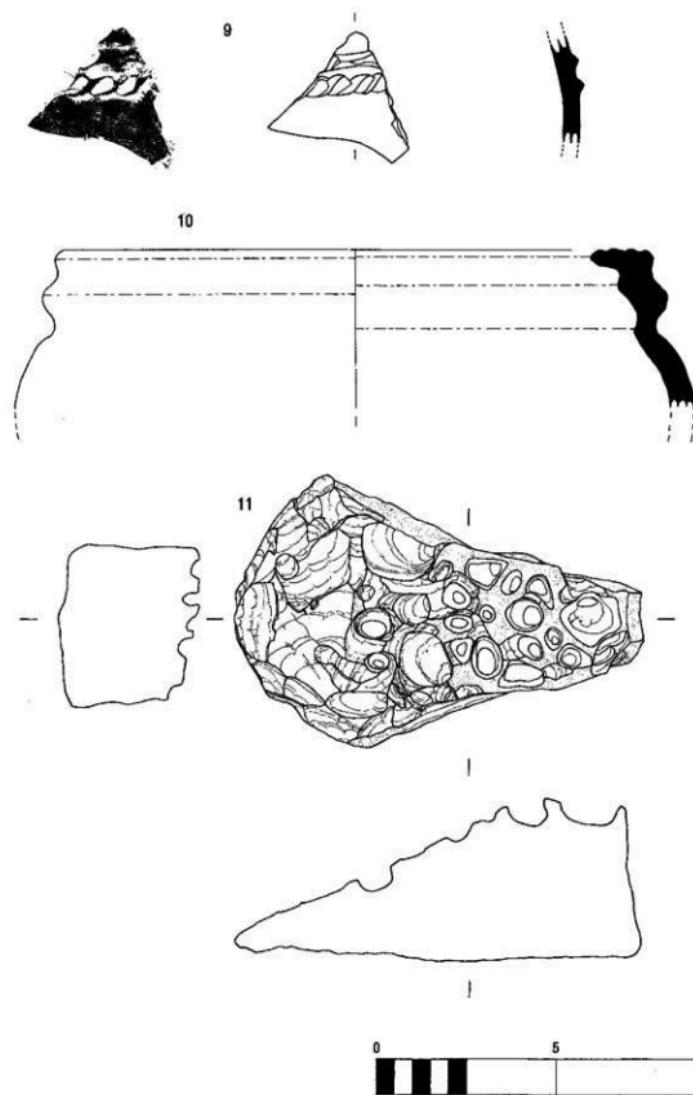
11



図版5 西春田地区遺跡（仮称）遺物写真  
(11：盃状穴穿孔石)



図版 6 西春田地区遺跡（仮称）遺物実測図

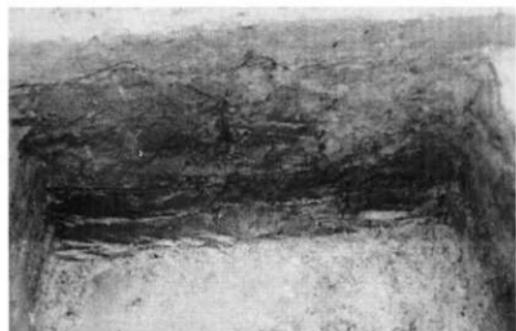


图版 7 西春田地区遗踪（仮称）遺物実測図

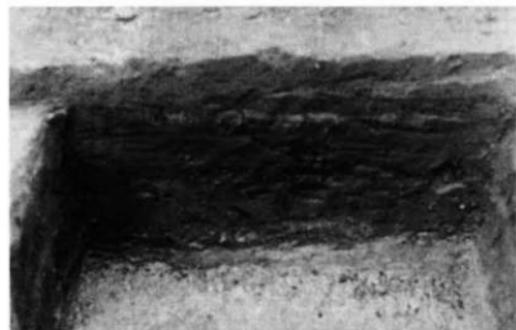
B-①



D-②

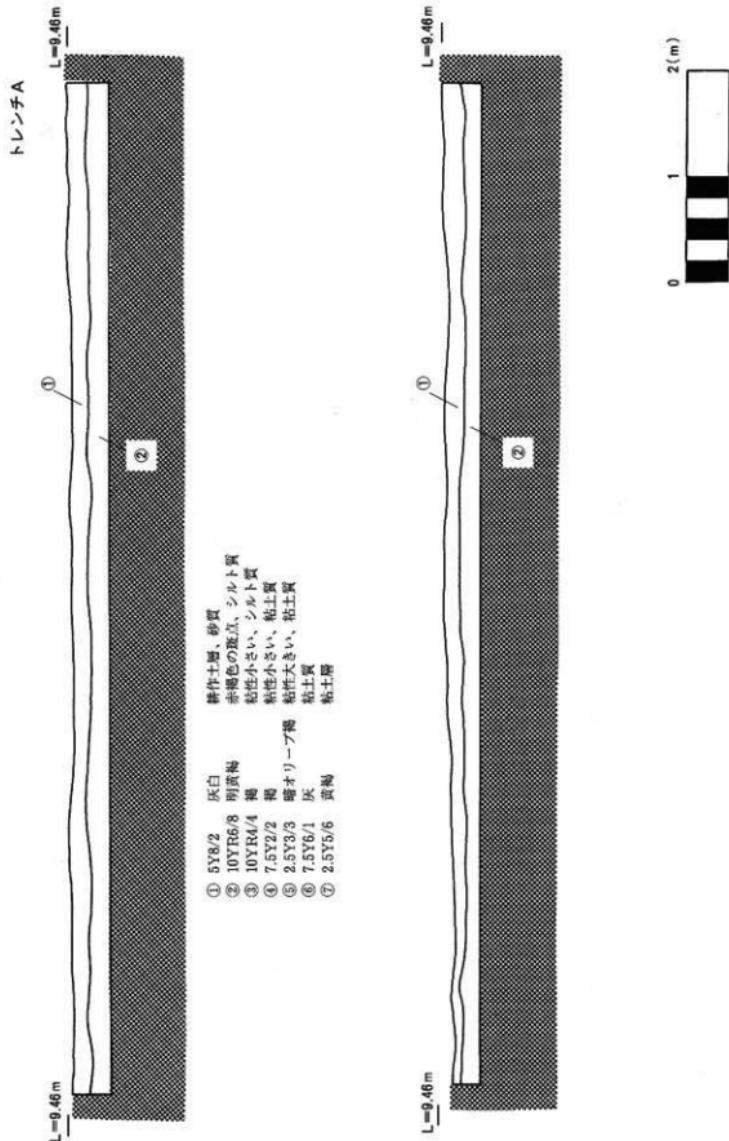


2-③



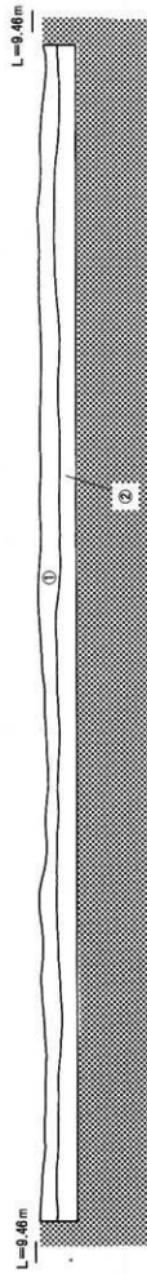
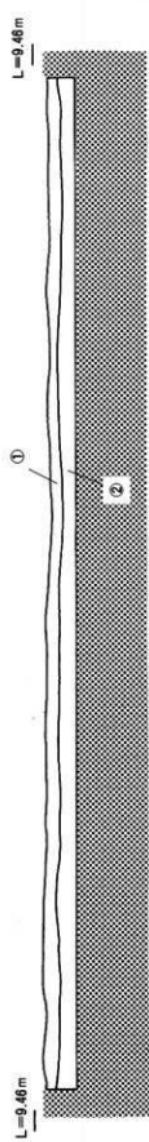
図版8 西春田地区遺跡（仮称）土層検出状況写真  
(上：B-①、中：D-②、下：2-③)

図版9 西春田地区遭跡（板林）土層断面図

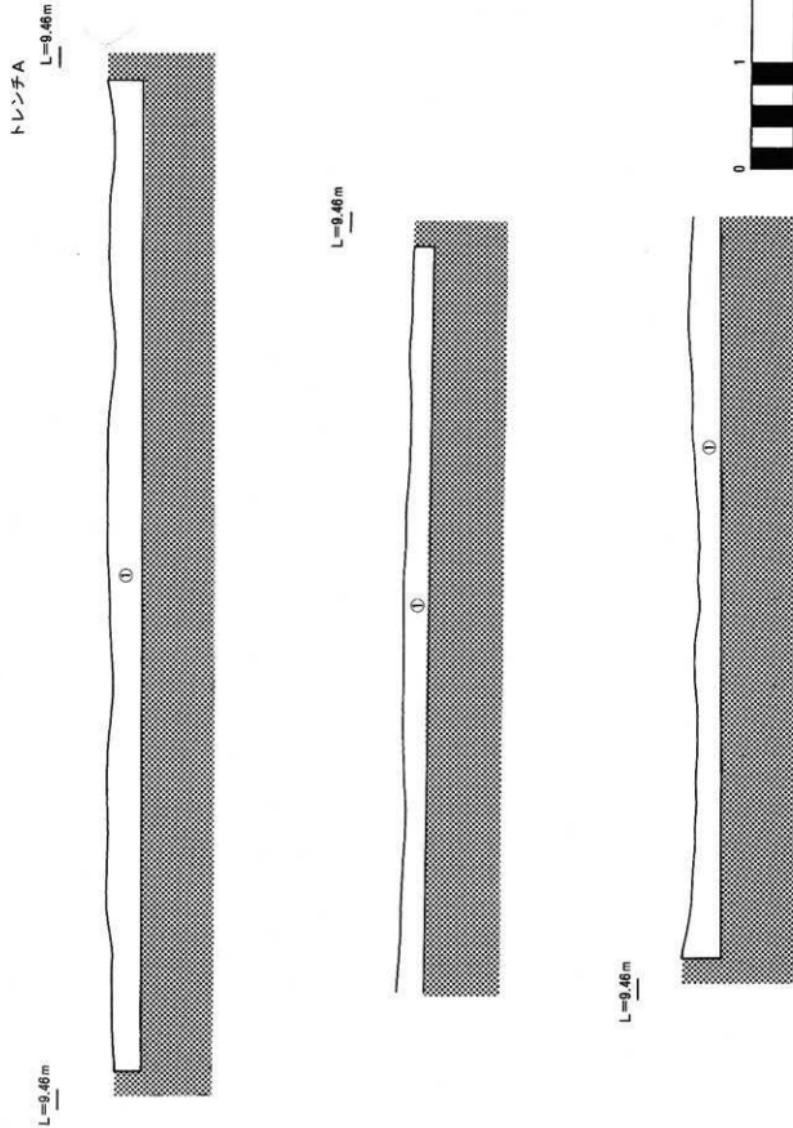


图版10 西春田地区道路（饭桥）土层断面图

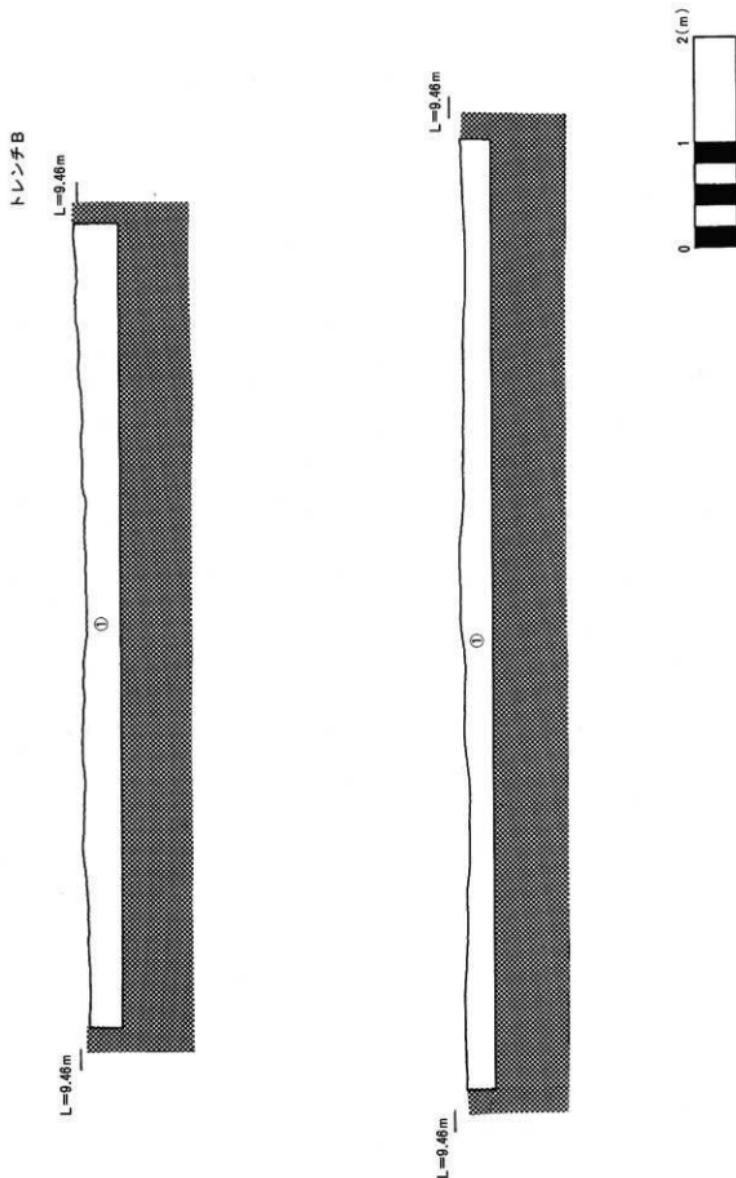
トレンチA



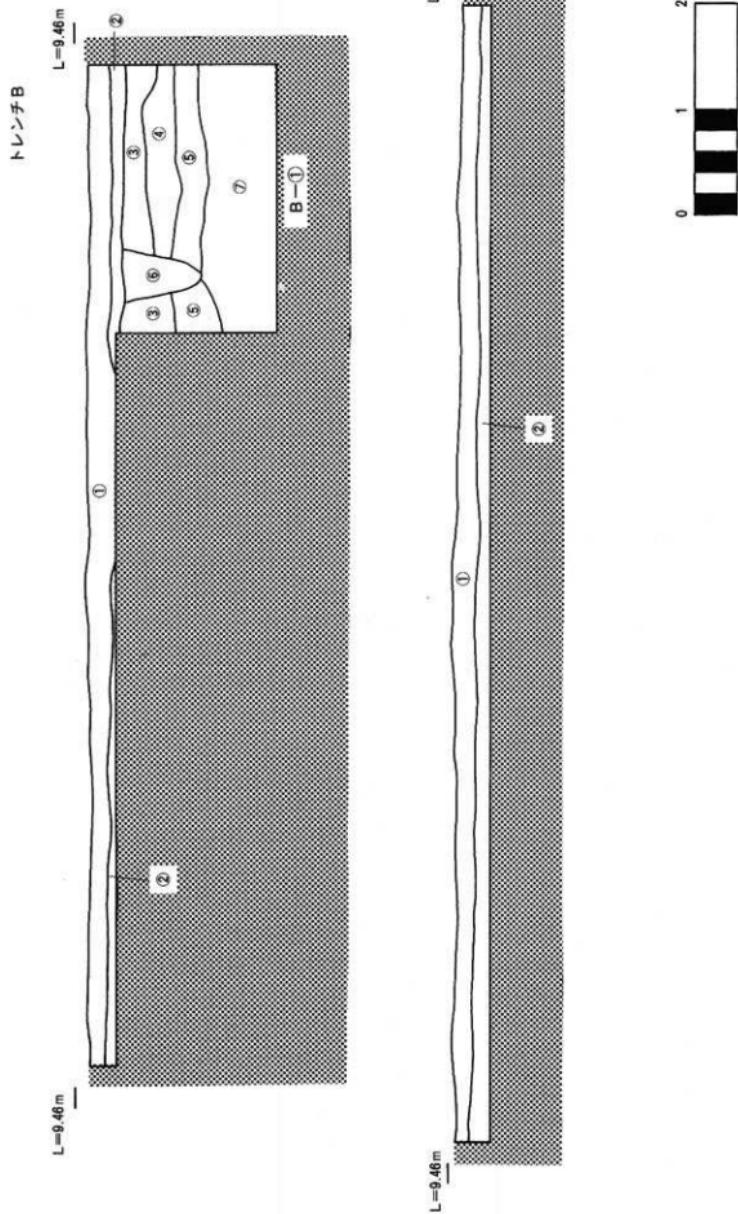
図版11 西春田地区遺跡（仮称）土層断面図



図版12 西春田地区遺跡（仮称）土層断面図



図版13 西春田地区遺跡（仮称）土層断面図



トレンチ B  $L=9.46m$

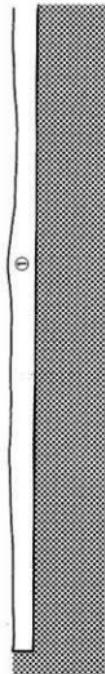
$L=9.46m$



$L=9.46m$



$L=9.46m$



図版14 西春田地区遺跡（反标）土層断面図